Creative Enzymes®

Xanthomonas manihotis由来のβ(1-3)ガラクトシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1261

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	β-ガラクトシダーゼは、β-ガラクトシドを単糖に加水分解する反□を触媒する加水分解酵素です。異なるβ-ガラクトシダーゼの基質には、ガングリオシドGM1、ラクトシルセラミド、乳糖、さまざまな糖タンパク質が含まれます。
別名	β-ガラクトシダーゼ; ベータガル; β-ガル; EC 3.2.1.23; ラクターゼ; β-ラクタシダーゼ; マキシラク; ハイドロラク; β-D-ラクタシダーゼ; S 2107; ラクトザイム; トリラクターゼ; β-D-ガラクトナナーゼ; オリザチム; スミクラット; β-D-ガラクトシド ガラクトヒドロラーゼ

製品情報

種	ザントモナス・マニホティス
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl（pH 7.5 25°C）、および0.1 mM Na2EDTA。
分子量	66 kDa
活性	17,000 ユニット/mg
濃度	10,000 ユニット/ ml
特異性	GlcNAc(β1-6)残基は、酵素の特異性に影響を与え、非還元性β1-4ガラクトースの切断を可能にする唯一のアノメリック構成です。
単位定義	1単位は、1 nmolのGalβ1-3GlcNAcβ1-3Galβ1-4Glc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)から95%以上の末端β-D-ガラクトースを切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反□体積10 µlで行われます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで